

第9回検討委員会要旨

平成20年1月10日

AM10時～11時30分

場所：浪切ホール 研修室1

主な内容

事務局より、土地利用ゾーンを効果的に整備するために必要となる視点（考え方）を提示し、事業手法や事業主体の可能性を検証した。

また、土地利用構想の実現に向けた更なる検証を行うため、新たな組織（仮称岸和田市丘陵地区整備機構）を設立する必要性や、今後、この組織が主体となって丘陵地区のまちづくりを運営していくことを確認した。

続いて、「岸和田市丘陵地区整備計画基本構想」の案を、前回までの検討委員会全8回に亘る検討内容をまとめて作成し、提示した。

委員からは主な意見として、

「点在している市の土地を集約して、うまく活用していかないということが、一番の大きなポイントになってくるかと思います。できるだけ地権者の方々のご負担なく、市の財政の持ち出しもできるだけ抑えながら、土地の交換を行い、さらに道路を中心とした基盤整備ができる手法を検討しなくてはならない。」「(都市的整備と農的整備を)別々に動かすのはなかなか難しいので、丘陵地区整備機構がそれらを統括するという事です。全体を考えながら、具体的に誰々さんの土地をどっちに動かすか、そのときにどういう事業を組み合わせていくかということ、それぞれのエリア(都市的整備と農的整備)ごとに進めるという二段構えに考えるということです。」「この話が起こってから相当年数経っていますので、地元も、その当時やったら熱意もあったし、ある程度の関心を持っておったんですけども、現在になりますと、全然そういう空気がないんです。そのへん役所というか、行政で引っ張ってもらって、中味の濃い内容の説明をできるようにお願いしたいと思うんです。」「我々も地権者ですけども、正直、丘陵地区の計画をどうしてというのを考えている地権者は少ないと思います。だからこういう機構が主導で進めてもらわないとだめだと思います。」「街の名前は先に決めるより〇〇〇タウンのままの方が、地権者に説明しやすいと思うんです。ある程度進んできて、公募でもして決めたらいい。」等その他。

※ 要約しています。詳細については議事録本文をご覧ください。